

第2回

黒磯地区交流拠点づくり構想策定検討委員会

平成29年3月24日（金）

1. 業務対象地区の現状及び米軍基地に関連する交流事業について

(1) 地形図等資料



(2) 交流事業の整理

本市における福祉交流事業は、未就学児によるミニコンサートや、小中学生による合唱・ダンスなど老人福祉施設等への慰問活動が定期的に行われており、地域の人々と密着したさまざまな交流事業を行っている。
また、岩国市総合計画において、本市の特性を活かし在留外国人との身近な国際交流や、国際協力の活動を促進し、相互理解を深めるとともに、国際感覚をもった人材の育成を行う施策目標を掲げており、米海兵隊岩国基地では、平成28年は下表に示す25件、平成27年においても25件、平成26年は30件の交流事業が行われている。

平成28年交流事業（米海兵隊岩国基地関連）

実施日時	名称	備考	実施場所	参加者等
2016/12/10	クリスマス・パーティ	バウンスハウス、クリスマスクッキーのデコレーション体験、ゲーム、手作りのアメリカの料理のクリスマスディナー。	米海兵隊岩国航空基地	児童養護施設 津田学園
2016/11/20	第27回 鞍掛城まつり参加	伝統的な武者の衣装を身に着けて合戦出陣絵巻に参加し、地域社会と交流。	岩国市玖珂町	岩国基地の海兵隊員 5名
2016/11/13	第55回 日本語・英語スピーチコンテスト	日本人生徒は英語で、ペリー小学校、高校の生徒は日本語でそれぞれスピーチを披露。	シンフォニア 岩国	マシュー・ペリー小学校、マシュー・ペリー高校、岩国市内の学校の生徒
2016/10/16	第60回 岩国まつり参加	海上自衛隊、第31航空群の隊員と一緒にパレード。83の団体と約800人が参加。	岩国市内	岩国基地所属の海兵隊と海軍隊員
2016/10/2	岩国スポーツデー	オリンピック競技種目に準じた様々なスポーツ競技会のためのトレーニングを知的障害のある人々に年間を通じて提供。	米海兵隊岩国航空基地	日本人アスリートとその家族、基地住人がボランティアとして参加
2016/10/1	日米子供サッカー	日米の子供達が混じった混合チームにより対戦した。	周防大島町 陸上競技場	町内サッカースポーツ少年団・岩国航空基地ユースサッカー（7～9才）が対象
2016/9/22	熊野筆まつり体験	文化交流プログラムの一環として、習字や伝統を体験、筆の里工房にある博物館を訪問。	広島県熊野町	岩国基地住人
2016/9/8	駅前保育園訪問	保育園周りの木の剪定、落ち葉の掃除、プールの片付け、園児達と交流。継続して行われている地域社会活動の一つである。	岩国市 駅前保育園	岩国基地ボランティア隊員
2016/8/27	サマー・ミュージック・フェスティバル	無料の食事やアトラクション、ライブ演奏。	岩国基地 ペニーレイク	岩国基地住人、地元住民
2016/8/23	海土路保育園訪問	基地の地域社会活動の一環として、子供達と交流。	岩国市 海土路保育園	岩国基地ボランティア隊員
2016/8/21	バスケットボール・トーナメント	メインランド・スポーツ・アソシエーション(MSA)主催	米海兵隊岩国航空基地	岩国、平田、大野、大竹、MSAイワクニから44名の選手が参加
2016/8/13	盆踊り体験	文化交流プログラムの一環として、白山比咩(しらやまひめ)神社を訪問。横山地区で開催された盆踊り大会や神事に参加。	岩国市横山地区	岩国基地住人
2016/5/14	2016 デッドリフト大会	階級別、男性の部・女性の部。	岩国基地 アイアンワークス・ジム	岩国基地住人、日本人選手

平成28年交流事業（米海兵隊岩国基地関連）

実施日時	名称	備考	実施場所	参加者等
2016/5/5	日米親善デー2016	地上展示、航空ショー、地上デモンストラーション、食事、エンターテイメント。	米海兵隊岩国航空基地	一般開放 (約17万5千人が来場)
2016/4/21	岩国基地 マシュー・ペリー 高校訪問	基地内の高校内部を見学し、アメリカ文化を体験。生徒達に異文化への理解や英語力とコミュニケーション能力を向上させる。	マシュー・ペリー高校	野田学園高等学校 グローバル・インターナショナルコースの生徒39名
2016/4/19	常照保育園訪問	基地の地域社会活動の一環として、子供達と交流。	岩国市 常照保育園	岩国基地ボランティア隊員
2016/4/17	第49回 キンタイマラソン	フルマラソン、ハーフマラソン、5キロのウォーキングの3つのカテゴリーにて競技を実施。	米海兵隊岩国航空基地	岩国基地住人 日本人選手定員1,000名
2016/4/16	餅つき参加	文化適合プログラムの一環。	岩国市 天尾小学校	岩国基地住人日本人ボランティアや周辺住人
2016/3/9	木場潟 クリーン作戦	石川県小松市 木場潟公園の清掃。	木場潟公園	日米隊員とその家族 約90名
2016/2/20	第6回 IWAKUNI 日米交流合同コンサート	歌や吹奏楽の演奏を披露。	シンフォニア 岩国コンサートホール	岩国市近郊の学校の日本人生徒、岩国基地のマシュー・ペリー小学校と高校の生徒
2016/2/17	米海兵隊・広島県警共同訓練	広島での外相会合と、2020年東京オリンピックでの安全確保と危険物探知の為、県警の警察犬に爆発物の探知方法を訓練。	米海兵隊岩国航空基地	憲兵隊、K-9(軍用犬)ユニットの海兵隊員、広島県警察本部の警察官
2016/2/11	第6回 日本文化交流プログラム	マシュー・ペリー小学校の児童に、日本語のパフォーマンスや音楽の演奏を披露。	マシュー・ペリー小学校 体育館	周南国際交流児童クラブのメンバー、スタッフ、その他関係者 約90名
2016/2/10	レンコン掘り体験	文化適合プログラムの一環。	JA 岩国市 レンコンほ場	岩国基地住人
2016/2/2	訪問交流事業	日本の授業を体験。	山口県立高森みどり中学校	マシュー・ペリー中学校生、英語セミナー交換プログラムに参加経験のある日本人生徒
2016/2/1	第6回 みかん集会	地域と交流事業の一環として、周防大島のみかん農家から約2,000個のみかん贈呈。	マシュー・ペリー小学校	ペリー小学校の児童と職員、JA山口大島

※季刊誌『きんたい』（発行：米海兵隊岩国基地）より作成

2. 福祉及びその他公共施設等を取り巻く状況

(1) 市民アンケート及び事業者ヒアリングの結果、市議会、検討委員会の整理

1) 市民アンケート

■調査概要

黒磯地区の福祉の交流拠点における導入機能等を検討するため、岩国市民のニーズを定量的に把握する事を目的に、岩国市民（20歳以上）を対象としたアンケート調査を実施した。

○実施期間：平成29年2月13日（月）～平成29年2月28日（火）

○調査方法：郵送配布、郵送回収

○回収状況：配布数：1,300通、回収数611通（回収率47.0%）

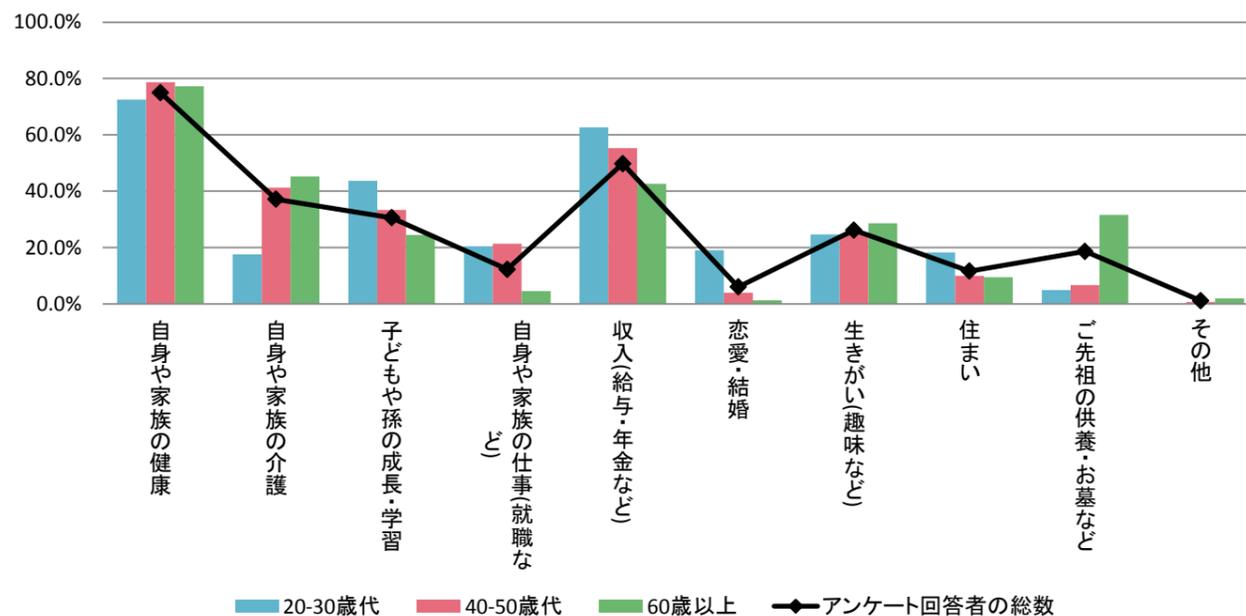
※配布数の設定にあたっては、過去に市が実施したアンケート調査結果の状況を踏まえ、年代別の人口割合に応じた回答が得られるよう、サンプル数を設定した。

▼年代別の回収率等

年齢別	人口	配布数	配布数/人口	回収数	回収率	回収数/人口
20歳～39歳	24,141	443	1.8%	142	32.1%	0.6%
40歳～59歳	33,945	328	1.0%	150	45.7%	0.4%
60歳～	55,876	529	0.9%	307	58.0%	0.5%
無回答	—	—	—	12	—	—
合計	113,962	1,300	3.7%	611	47.0%	0.5%

① 関心のあるものについて

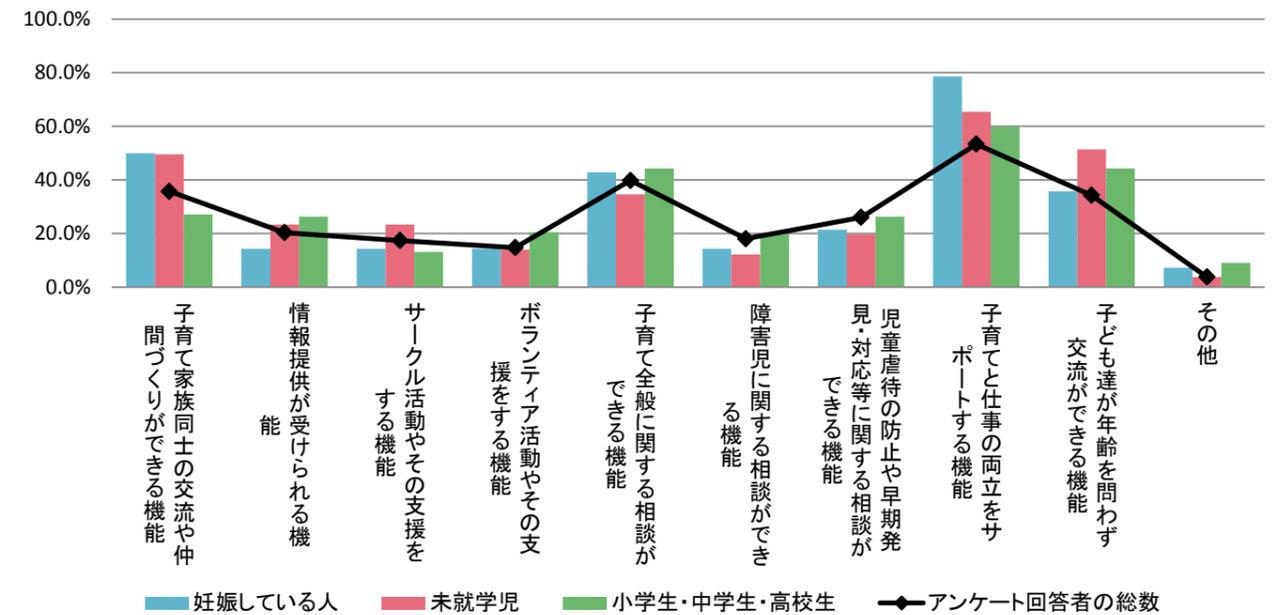
現在の生活に際しての関心事について、アンケート回答の全体の傾向としては「健康」続いて「収入」に関心が高い。また、20～30歳代の方は、「子育て」「生きがい」の割合が高く、40～50歳代の方は「介護」「子育て」の割合が高い。60歳以上の方は、「介護」「先祖の供養」「生きがい」に関心を持っている。



② 必要と思われる機能について

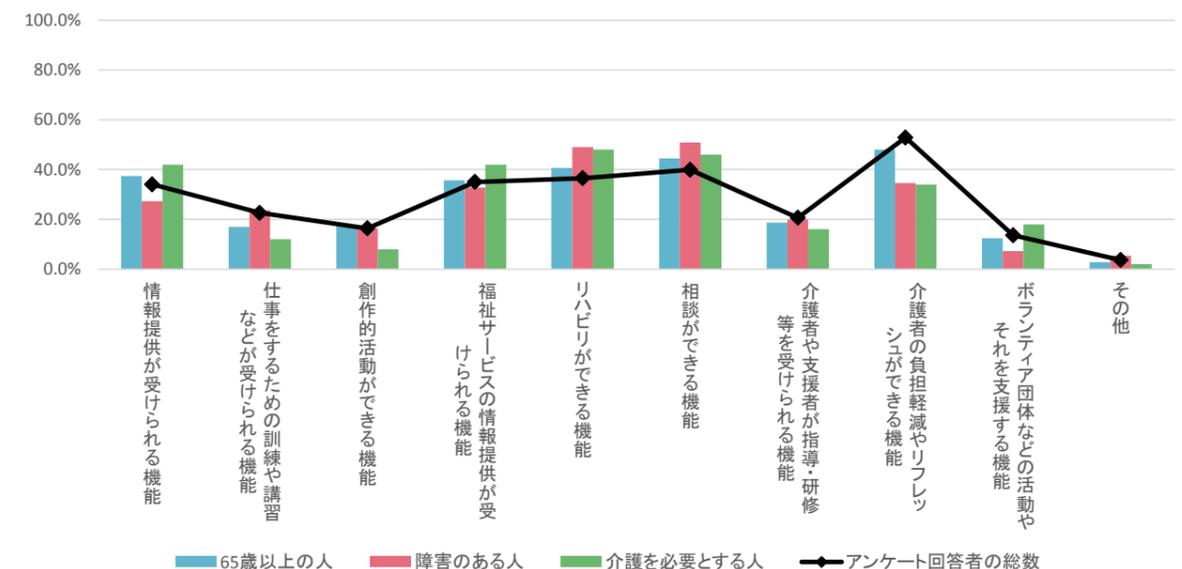
○子育てに関する福祉分野

子育てに関する福祉分野について、全体の傾向としては「子育てと仕事の両立をサポートする機能」続いて、「子育て全般に関する相談ができる機能」「子育て家族同士の交流や仲間づくりができる機能」が必要と思われる割合が高い。なお、妊娠している人や未就学児がいる世帯においては、子どもや家族同士の交流ができる機能の割合が高くなっている。



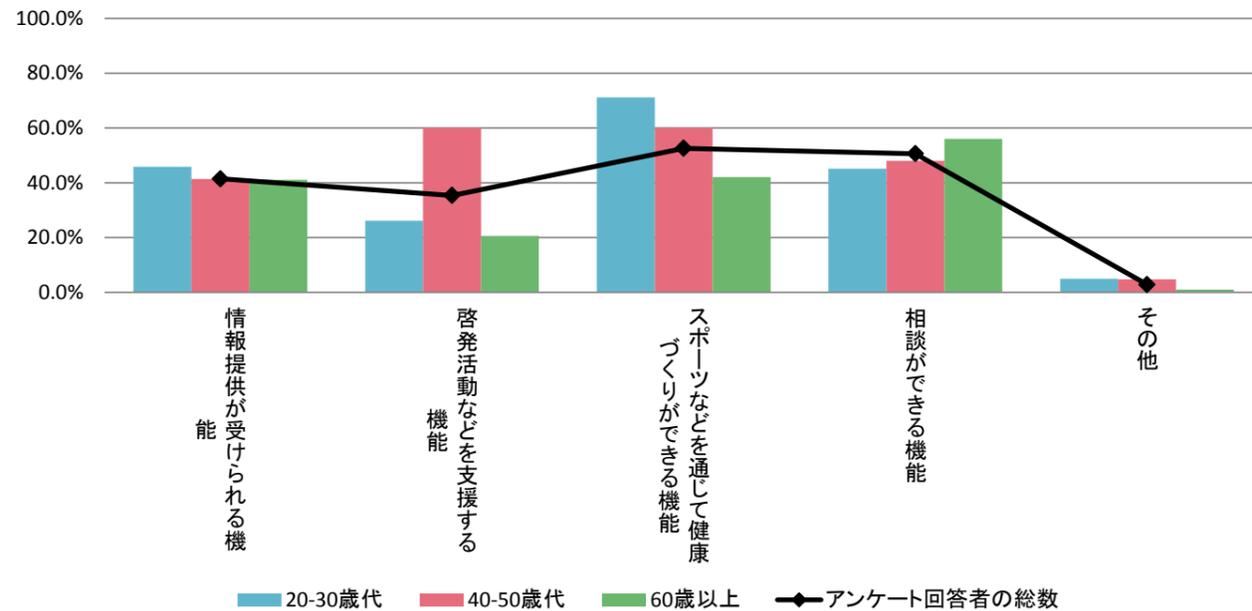
○高齢者や障害のある方に関する福祉分野

高齢者や障害のある方に関する福祉分野について、全体の傾向としては「介護する方の負担軽減やリフレッシュができる機能」続いて、「高齢者や障害のある方が困ったときに相談ができる機能」、「高齢者や障害のある方のリハビリができる機能」が必要と思われる割合が高い。なお、支援が必要な障害のある方や介護を必要とする方がいる世帯においては、「相談機能」「リハビリ機能」を求められている。



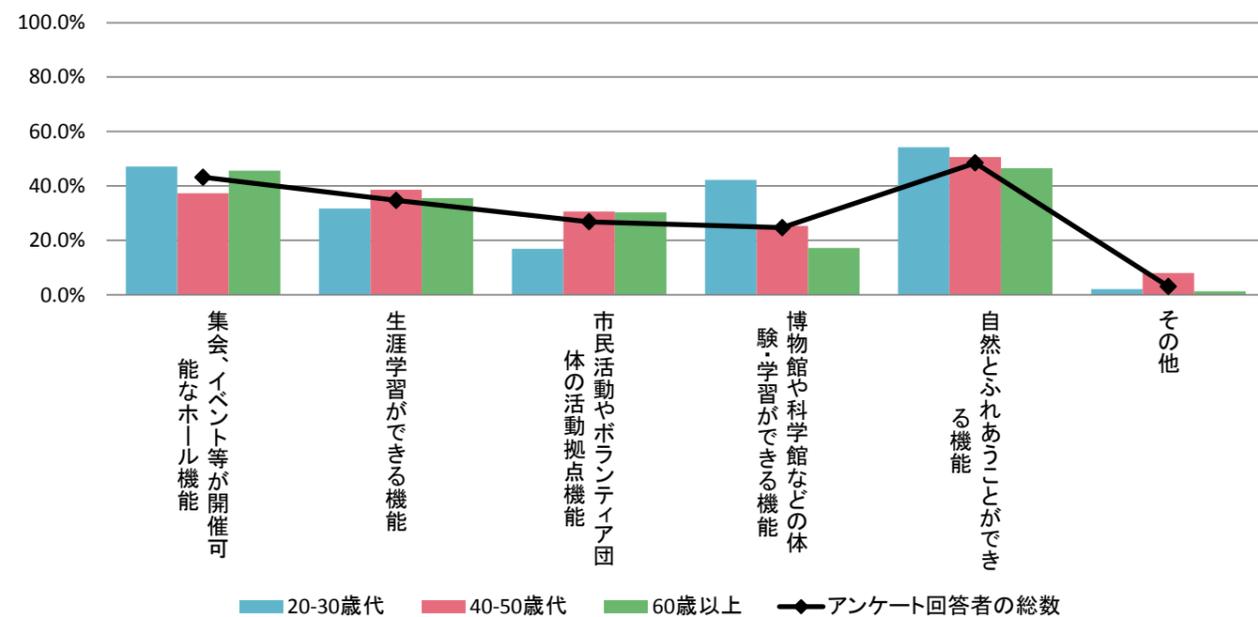
○健康づくりに関する福祉分野

健康づくりに関する福祉分野について、全体の傾向としては「スポーツなどを通じて健康づくりができる機能」「生活習慣の改善や健康づくりに関する相談ができる機能」を求める割合が高くなっており、続いて「食育や健康づくりに関する講座などの情報提供が受けられる機能」を求められている。なお、40～50歳代は、「啓発活動などを支援する機能」を求められている。



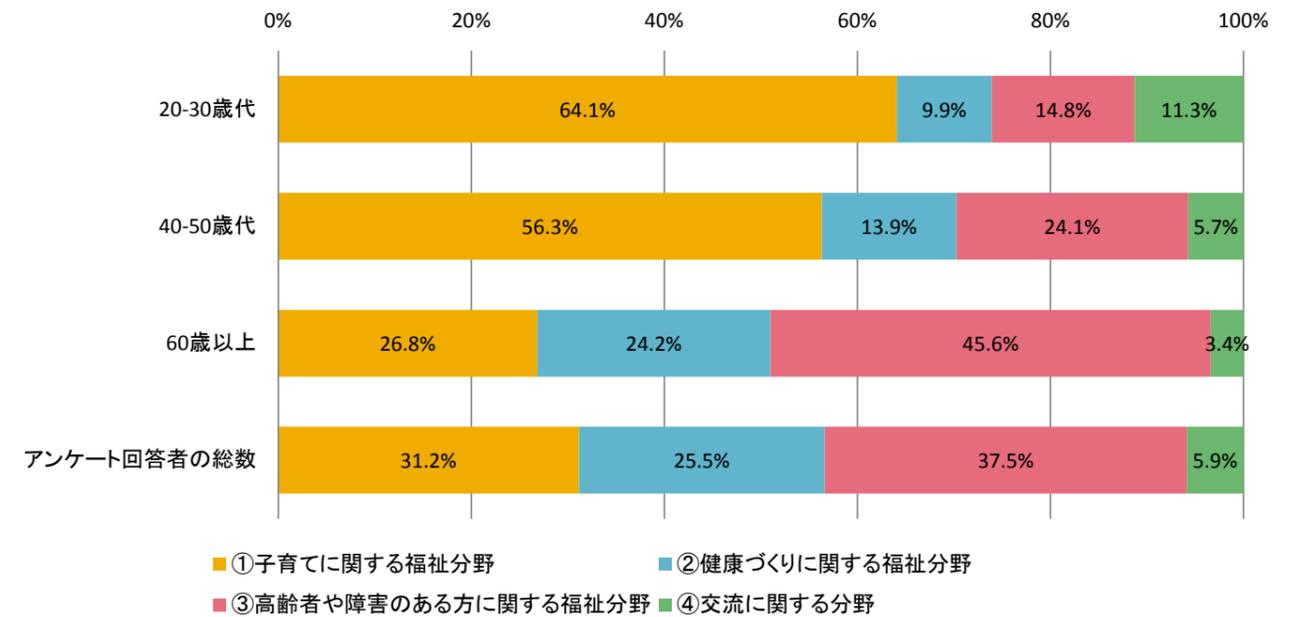
○交流に関する分野

交流に関する分野について、全体の傾向としては「植物園や農園などで自然とふれあうことができる機能」続いて「集会、多様なイベント等が開催可能なホール機能」「料理教室や文化活動などの生涯学習ができる機能」を求める割合が高くなっている。なお、20～30歳代の子育て世代においては、「博物館や科学館などの体験・学習ができる機能」を求められている。



③優先順位について

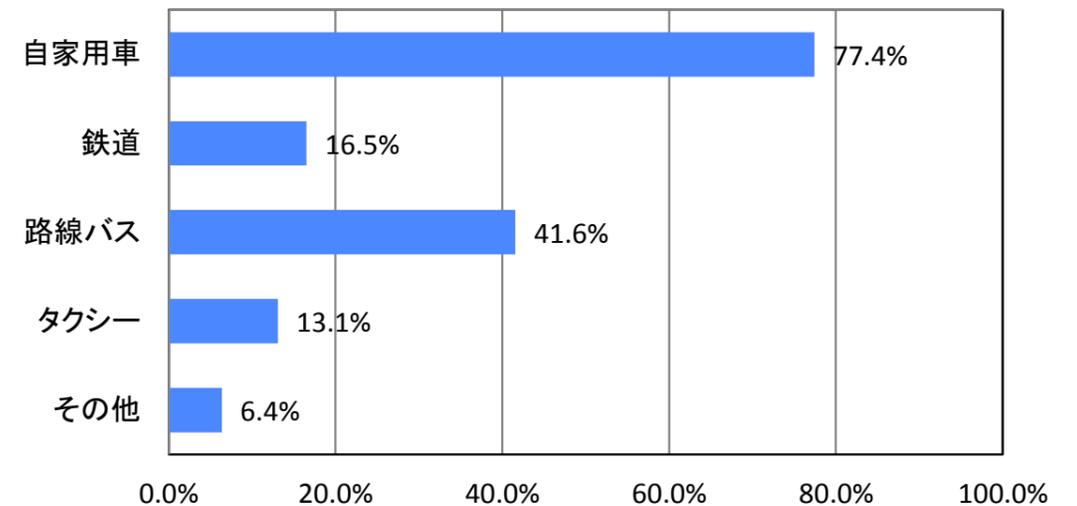
優先順位が高い福祉分野は、全体の傾向としては、「高齢者や障害のある方に関する福祉分野」を求める割合が高い。また、20～30歳代及び40～50歳代は「子育てに関する福祉分野」、60歳以上は「高齢者や障害のある方に関する福祉分野」を求められている。



※最も優先度が高い（1位）と回答された福祉分野

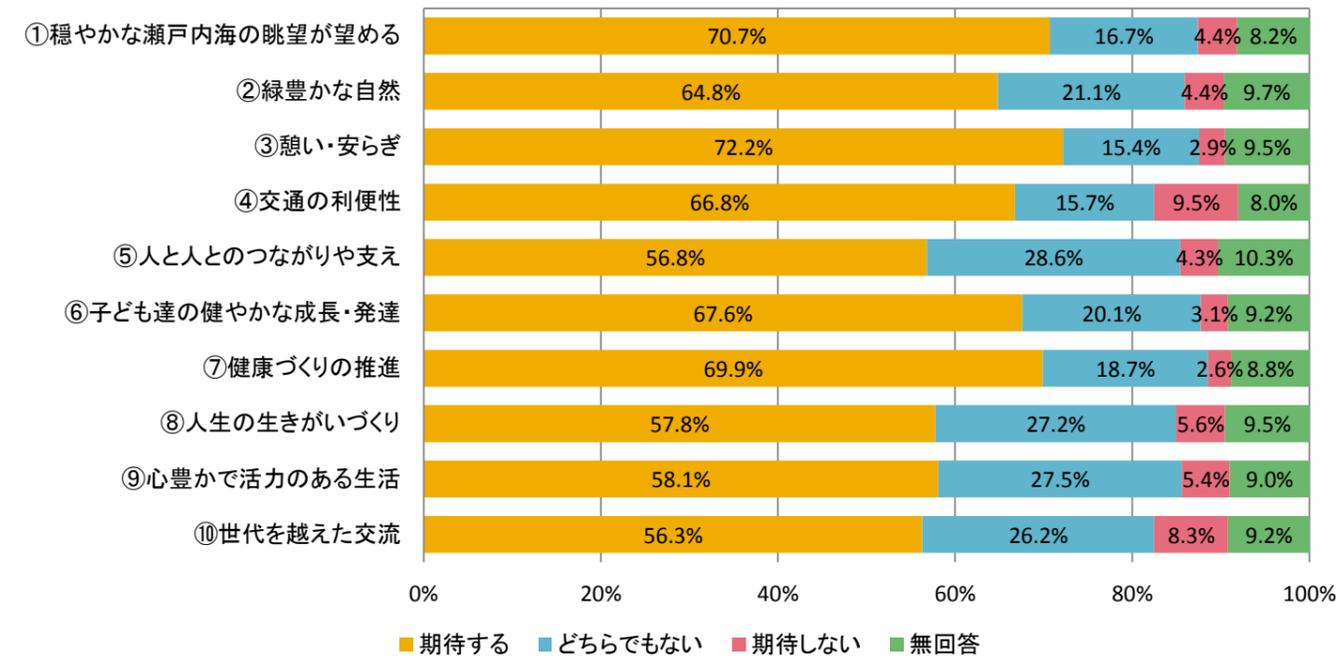
④黒磯地区の「福祉の交流拠点」への交通手段について

計画地への交通手段としては、全体の約8割の方が「自家用車」続いて4割の方が「路線バス」での利用を回答されている。



⑤期待するイメージ

いずれの期待度も高く、その中でも「憩い・安らぎ」、「穏やかな瀬戸内海の眺望が望める」、「健康づくりの推進」の期待度が高くなっている。



2) 事業者ヒアリング

子育て支援に関するニーズ

◆「子育て支援サービスや遊びの空間」などの導入機能が求められている。

- ・子育てを支援する新たな「こども館」
 - ・何時でも子どもの「一時預かり」ができる施設
 - ・保護者等が「会議」をする場所
 - ・ファミリーサポート制度の「ボランティア活動拠点」となる施設
 - ・玖珂総合公園のような「公園」（大型遊具など）
 - ・「食事」（弁当、軽食）ができる場所
- など

高齢者福祉に関するニーズ

◆「多様なニーズに対応できる総合福祉施設」などの導入機能が求められている。

- ・先端的な福祉・医療を集め、岩国福祉モデル（国内初）を構築できる施設
 - ・無料で「リハビリ」ができる施設
 - ・乳児から高齢者まで安心して「日中を過ごせる施設」
 - ・近郊で研修が受けられる「研修施設」
 - ・介護・医療を必要とする方の「入所施設」
 - ・高齢者が就労できる「企業」
- など

障害者福祉に関するニーズ

◆「相談窓口や社会参加を支援する施設」などの導入機能が求められている。

- ・福祉以外でも一度で相談可能な「基幹的な相談窓口」
 - ・障害者と健常者が「サークル活動ができる施設」
 - ・福祉ボランティア等が研修を受けることができる「研修施設」
 - ・身体障害者が利用可能な「リハビリセンター」
 - ・地域の方も利用可能な「障害者のスポーツ施設」
- など

地域福祉に関するニーズ

◆「地域福祉を活性化する施設」などの導入機能が求められている。

- ・社会福祉分野だけでなく、「複合的な利用ができる施設」
 - ・老朽化や駐車場不足に問題を抱える「福祉会館」が持つ機能の移転
 - ・ボランティア活動を推進するため「ボランティア活動拠点」となる施設
 - ・福祉人材の確保にむけた「福祉教育」の充実
 - ・老人福祉センターの利用ができなくなるため「温浴施設」
- など

3) 市議会

地元からの要望を踏まえ、岩国市議会より以下の導入機能が提案されている。

導入機能

- ・医療施設、薬局の誘致
- ・こども館のような親子で遊べる施設、健康づくり施設、娯楽室などの複合福祉施設
- ・アクセス道路の確保

4) 検討委員会意見

第1回検討委員会より、福祉の交流拠点に以下の導入機能が提案されている。

導入機能

- ・福祉に関わる人材を育成する機能
- ・学生が福祉を体験し、学ぶ事ができる機能
- ・アクセス道路の確保
- ・医療施設の誘致

(2) 公共施設マネジメントの整理

岩国市が所有する公共施設の中には、建設後30年以上経過しているものが多く、旧耐震基準にて建設されている施設も含まれている。今後は、将来の大きな負担とならないように、本当に必要な公共施設を見極めた上で、岩国市にとって最適な量の施設を保有することが求められる。

岩国市の拠点性を有する公共施設の状況

	建築年		総計	摘要(該当施設区分)
	1981年以前 (旧耐震基準)	1982年以降 (新耐震基準)		
市民文化系施設	4	6	10	文化会館、その他
社会教育系施設	7	8	15	図書館、博物館等
保健・福祉施設	3	16	19	介護施設、福祉会館等
子育て支援施設	1	2	3	児童館
総計	15	32	47	

※「岩国市公共施設白書」より作成

【抽出の考え方】

- ・拠点への立地可能性を探るための施設分類抽出(公共施設白書を利用)
- ・広く市民が利用している施設や、立地の自由度が高いと考えられる施設を抽出

【耐震基準】

- ※ 新耐震基準…耐震基準とは、建築物や土木構造物を設計する際に、それらの構造物が最低限度の耐震能力を持っていることを保証し、建築を許可する基準であり、新耐震基準とは、建築基準法に基づき昭和56年(1981年)6月1日に適用された現行の基準である。
- ※ 旧耐震基準…旧耐震基準とは、新耐震基準が適用される以前の基準であり、旧耐震基準で建てられた建物は、阪神・淡路大震災では建物の倒壊等、大きな被害が見られたため、耐震改修による耐震性の向上が必要とされる。

3. 課題の整理

(1) 社会福祉の潮流における課題と求められる対応

【課題】

少子化・高齢化が進行し、福祉サービスを必要とする人は、増加すると予想される中、さらに多様化する支援ニーズに対応し、福祉サービスを充実させるには、より多くの福祉人材の確保が必要となる。しかしながら、現状においては少子高齢化の進展により、福祉のみならず、様々な業種が必要な人材を確保できず、人手不足が深刻化しつつある。

求められる対応

○福祉に関わる人材育成

(2) 市域における課題と方針

1) 意向調査からみた課題と方針

【子育て支援における課題】

- ・市民アンケート調査においては、「子育てと仕事の両立をサポート」を求める回答が最も多く、続いて「子育て全般に関する相談ができる機能」「子育て家族同士の交流や仲間づくりができる機能」が求められている。
- ・ヒアリング調査においては、子育て支援機能を有する「児童施設」の整備が求められている。
- ・いずれの調査においても、新たな「遊び場」「公園」を求める回答が多く、また計画地に寄せるイメージについても自然環境を活かすことへの期待が高い。

求められる対応

- 「子育て支援サービス」や「相談体制」の充実を図り、安心して子供を産み育てることができる環境や、働きながら子育てしやすい環境づくりを推進
- 自然環境を活かした「遊び場」や「公園」など、家族や家族同士のコミュニケーションが図れる「交流の場」となる機能を充実

【高齢者福祉における課題】

- ・市民アンケート調査においては、「介護者の負担軽減・リフレッシュ」を求める回答が最も多く、続いて高齢者及び介護者を対象とした「相談窓口」機能や、高齢者福祉サービス等の情報や介護等に関する正しい知識の「普及啓発」機能の充実が求められている。
- ・事業者ヒアリング調査では、高齢者の健康維持・増進のための「リハビリができる」機能や、福祉に関わる人材を育成する機能として「研修施設」など、多くの市民の様々なニーズに対応できる「総合福祉施設」の必要性が求められている。

求められる対応

- 高齢者や介護者を対象とした「相談窓口」の充実により、専門的、継続的な相談支援や、高齢者福祉サービス等の情報や介護等に関する正しい知識の「情報提供」が受けられる体制づくりを推進
- 元気高齢者を支援し、健康維持・増進のための「健康リハビリ」機能の充実や、「ボランティア活動」や「生きがいづくり」などの活動を推進

【障害者福祉における課題】

- ・障害者の方の様々な相談事に対応できる「相談窓口」機能の充実が求められており、障害者の方や家族の方への安心につながる情報提供が課題となっている。
- ・障害者の方の健康づくりに役立つ「リハビリができる」機能や、「サークル活動」や「スポーツ活動」などの障害者の方の自立を支援する機能の充実が求められている。

求められる対応

- 障害者の方への「相談支援」体制の充実を図り、適切なサービスの提供が受けられる体制づくりを推進
- 障害者の方の自立を支援するため「リハビリができる」機能の充実や、サークル活動やスポーツ

【地域福祉における課題】

- ・高齢化の進行など、様々な課題への対応が懸念されるなか、地域福祉の重要性が高まっており、活動拠点の場となる「総合福祉施設」のような拠点機能が求められている。

求められる対応

○地域福祉を推進するため、「研修施設」や「ボランティア活動」などの活動拠点の確保

【交流における課題】

- ・市民アンケート調査においては、「自然とのふれあい」機能を活かした交流を最も求められていた。
- ・また、集会やイベント等が開催できる「ホール機能」や、「生涯学習ができる機能」など、多くの市民が多目的に使用できる「設備環境」の充実が求められている。

求められる対応

- 豊かな自然環境での癒やしや安らぎを求め、多くの市民が寄り集う「交流の場」を確保
- 集会やイベントなど、多くの市民の「交流」のための「ホール機能」を確保

【健康づくりにおける課題】

- ・市民アンケート調査においては、「スポーツなどを通じて健康づくりができる」機能を求める回答が最も多く、続いて「生活習慣の改善や健康づくりに関する相談」機能の充実が求められている。
- ・自身の関心事についてのアンケートにおいても「健康づくり」への関心は高く、気軽に運動やスポーツができる環境や、自身の健康について相談できる機能が求められている。

求められる対応

- 健康づくりのために、誰もが気軽に「運動やスポーツに親しめる環境」を確保
- 生活習慣の改善や、健康づくりに関する正しい知識を身につける「相談機能」の充実を図り、市民の健康意識の向上を推進

3) 地区における課題と求められる対応

【交通条件における課題】

- ・黒磯地区のアクセス道路は、JR山陽本線踏切に隣接する平面交差で国道188号に接続しており、危険な状況であるだけでなく、慢性的な国道188号の交通渋滞を引き起こしている。
- ・路線バスが減便され、公共交通機関の利用が脆弱となっている。
- ・藤生駅から黒磯地区までは、歩道が無い区間がある。

求められる対応

○交通アクセス（車道、歩道、公共交通）の改善

【防災面における課題】

- ・計画地周辺は、土砂災害警戒区域などに指定されており、災害における対応を想定した導入機能の選定が求められる。

求められる対応

○災害における対応を想定した導入機能の選定が必要

【その他の課題】

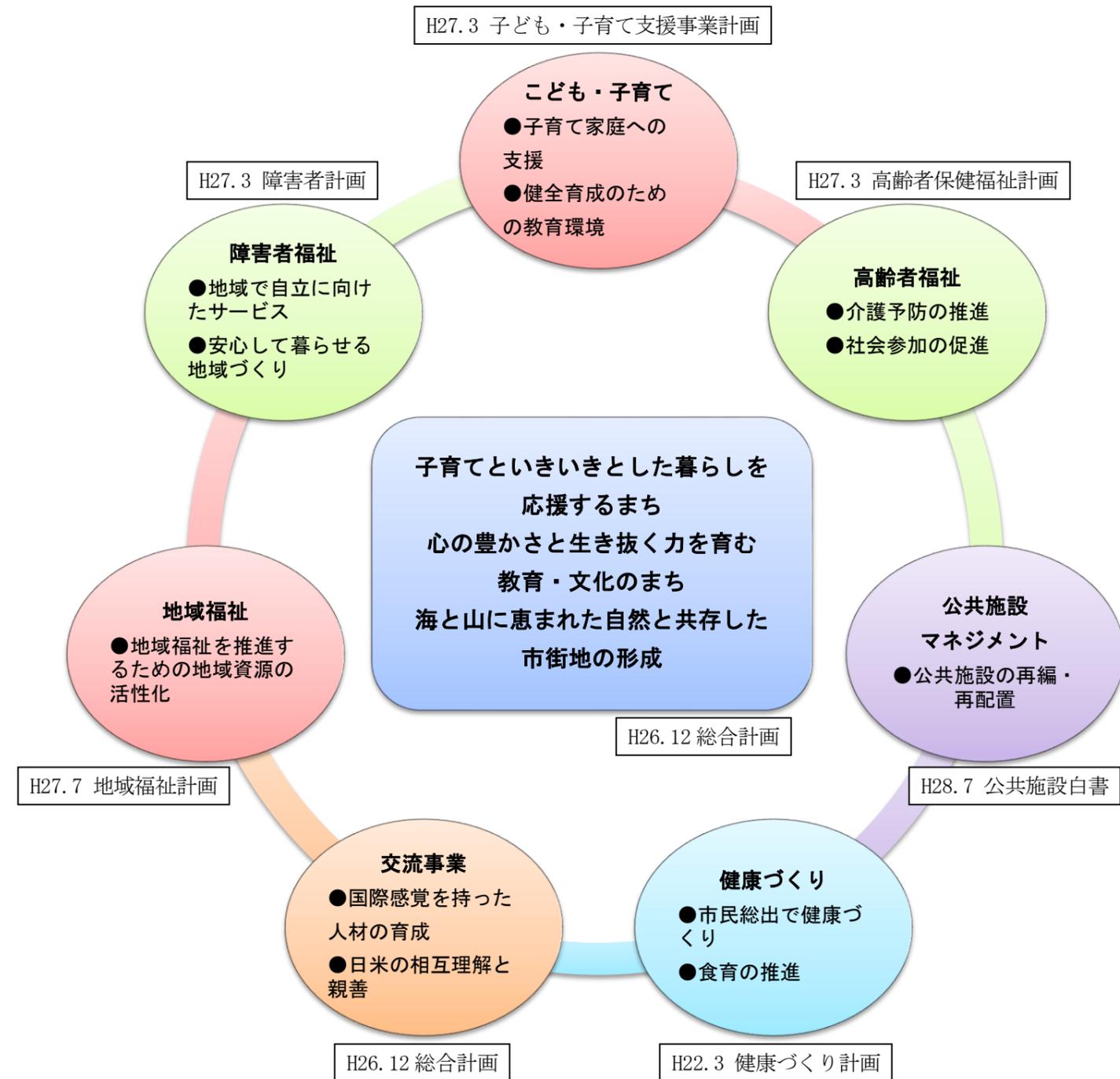
- ・周辺地域に医療施設が不足しているため、医療施設の誘致は必要事項であるが、医師不足が取り沙汰されている。

求められる対応

○岩国市医師会と連携を図りながら医療施設等の導入が必要

(3) 上位・関連計画などの関連性

上位・関連計画から、意向調査等を踏まえた関連性は下図のとおりである。



4. 導入機能の方針

社会福祉の潮流 【人材育成】

子育て支援	高齢者福祉	障害者福祉	地域福祉	健康づくり	交流	地区
<ul style="list-style-type: none"> 子育て支援サービス 相談体制 遊び場、コミュニケーション 教育環境の整備 	<ul style="list-style-type: none"> 相談窓口、情報提供 リハビリ機能 ボランティア活動 生きがいづくり 	<ul style="list-style-type: none"> 相談支援 リハビリ機能 生きがいづくり 理解促進の啓発 	<ul style="list-style-type: none"> ボランティア活動 研修機能 担い手の育成 	<ul style="list-style-type: none"> 気軽な運動 健康スポーツの集い 相談・研修機能 	<ul style="list-style-type: none"> だれもが憩い・集える交流の場 癒し・安らぎの場 イベントホール 	<ul style="list-style-type: none"> 交通アクセスの改善 災害時の対応を想定した導入機能 医療施設の誘致

黒磯地区に求められる方針

